

2025(令和7)年度 実習後面接授業コマシラバス				
分野	授業科目		担当者	授業形態
専門科目	老年看護学実習Ⅱ		上里さとみ 橘 毅 田所篤子 鎌田寿子	講義・演習
学年	履修期間		提出物	
2年	2025年8月30日(土)～9月7日(日)		実習後面接授業後レポート 提出期限:面接授業日から1週間以内【必着】	
【本時のテーマ】 臨地実習の学びをリフレクションし、高齢者看護の理解を深める			【準備物】 1.老年看護学実習Ⅱ実習後面接授業コマシラバス 2.老年看護学実習Ⅱ実習後面接授業資料 3.老年看護学実習Ⅱ実習日誌 4.事前学習 5.冊子「実習Ⅱ(病院等見学実習・面接授業)の手引き」 6.iPad	
【本時の目標】 1.臨地実習で実践した看護を振り返り、必要に応じて実習日誌を修正することができる 2.老年期に必要な知識と、自身の今後の課題を述べるができる 3.高齢者の歩行状態と高齢者に多い感染症について再確認し、これらがADL低下の要因となることを理解することができる 4.高齢者に対する身体拘束の必要性と対応方法を理解することができる				
時間割	項目		内容	
10:00～ 10:20	受付 オリエンテーション		本日の予定	
10:20～ 11:20 (60分)	1時間目 リフレクション 実習日誌の振り返り		1)リフレクションとは 2)リフレクションの効果 3)リフレクションに必要な基本的スキル 【個人ワーク】 授業資料にそって自己の振り返りを行っていく 1) 目標に沿った内容で記述 2) 看護の根拠が書けているか 3) 課題が明らかになっているか 4) 自己評価と指導者評価とコメントから課題を考える	
11:20～:30	休憩			
11:30～ 12:30 (60分)	2時間目 グループでの振り返り 発表		【グループワーク】 授業資料に沿って行う 1) 各自の実習内容と学びを発表 2) グループで意見や質問をしながら討議 3) 初めて知る疾患や検査・治療・看護など調べ学習 4) 学びをまとめる 5) 発表者を決める 6) 各グループでの討議内容を発表	
12:30～ 13:30 (60分)	昼休憩 換気			
13:30～ 14:30 (60分)	3時間目 歩行・移動介助 感染症		高齢者にとっての歩行 1) 歩行介助 2) 麻痺のある患者の杖歩行 高齢者が罹患しやすい感染症 1) ノロウイルス 2) 疥癬	
14:30～ 15:00 (90分)	4時間目 身体拘束について考える		身体拘束について考える 1) 身体拘束についての知識 2) 【グループワーク】身体拘束の事例 3) 自身の経験や臨地実習での学びから討議した内容の発表 4) 実習後レポートについて	
16:00～:10	休憩			
16:10～ 16:40	過去問題 まとめ		1) 個人で解答 2) 解答と解説	
17:00	終了			